

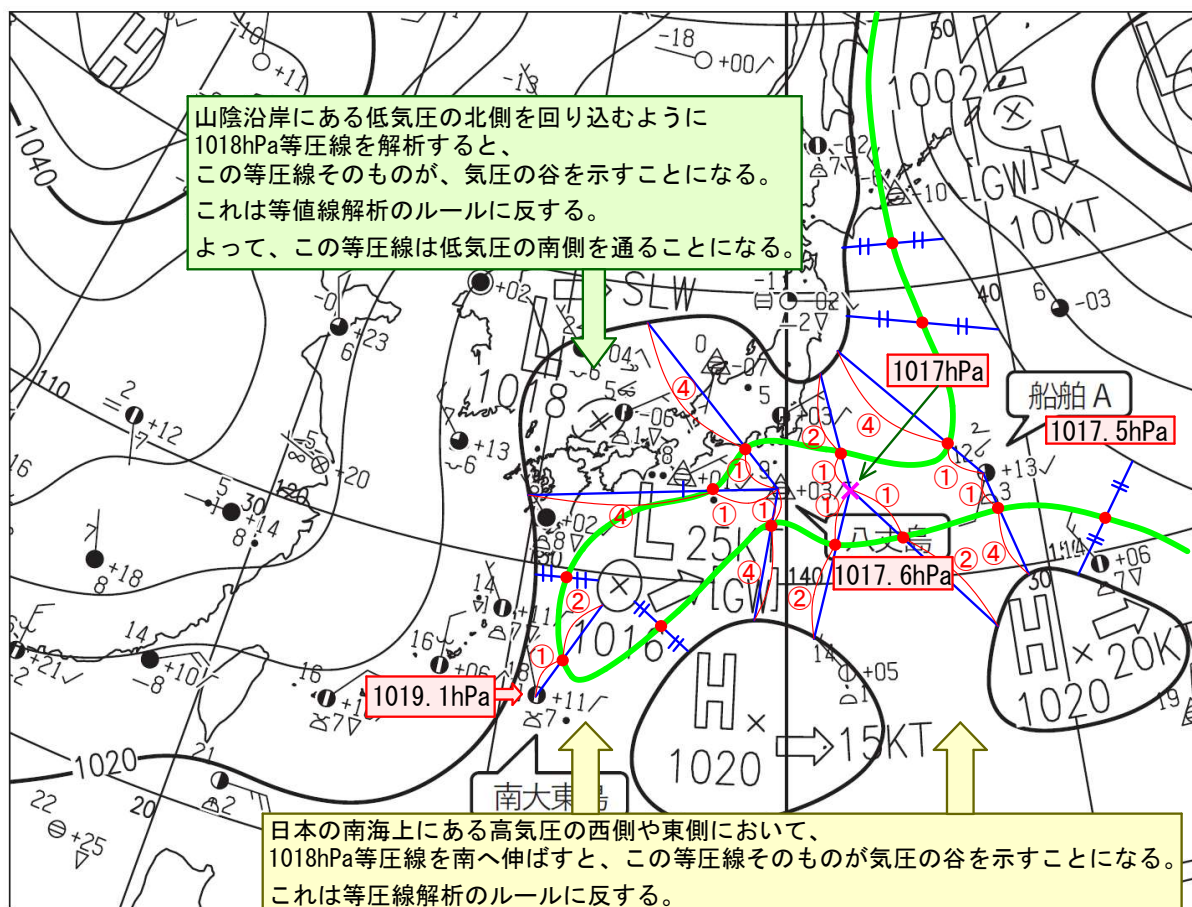
問1 続き

【題意】: 1018hPa の補助等圧線を解析する。

1018hPa 等圧線は、1020hPa 等圧線と 1016hPa 等圧線の間が存在し、両等圧線があるところでは、その中間点を通るように解析を行う。(三陸沖・四国の南にある低気圧の西側や南側)

船舶 A・八丈島・南大東島・弱いじょう乱の各気圧値も用いることで、1018hPa 等圧線の位置を按分して求めていく。なお、山陰沿岸に 1018hPa の低気圧があるが、この低気圧の北側を回り込むように 1018hPa 等圧線を解析すると、解析した等圧線自体が気圧の谷を示すことになり、等値線解析のルールに反する。また、日本の南海上には 1020hPa の高気圧があるが、この高気圧の西側や東側に 1018hPa 等圧線を解析した場合も、解析した等圧線自体が気圧の谷を示すことになる。よって、等圧線は高気圧の北側を東西に延びる形で存在すると判断される。

(6)



平成30年度第2回試験 実技試験2 図1を引用し、加筆した。